〇 日 生産に関する交換公文ル・システム及びナイキ・ハ 「本国とアメリカ合衆国との間 ーキュリーズ・ミサイル・システムの取得及び の相互防衛援助協定に基づくホ ーク・ミサイ

略 称 ・ミサイル・システムの取得及び生産取極米国とのホーク・ミサイル・システム及びナイキ・ハ ーキュリーズ

昭和四十二年 十 月十三日 - 効力発生昭和四十二年 十 月十三日 - 東京で

昭和四十二年十一月 六 日

告示

(外務省告示第二〇六号)

				木	
4	3	2	1	王	
				側	E
財	細	民	日	書	
政	目	間	本	簡	
上	取	企	玉		
0)	極	業	政	:	次
債	の	能	府		
務	目取極の締結	企業能力の活	に	:	
又	結	Ø	ょ		
は		活	る		
支		用	シ	:	
出			ス		
0	i		テ		
政上の債務又は支出の予算措置	:	i	本国政府によるシステムの購入又は生産	7	
算	÷	÷	Ø	į	
措			購		
置		i	入		
	÷		又		
;	:		Ι±	:	
i	÷	÷	4	•	
÷	÷	÷	産	i	
:	•	:	/35	:	
:	:	÷	:	;	
:	i	i	:		
:	:		÷	:	
:	÷		:		
÷		÷			
:	•	:		:	
:			:		
:		÷			
:	•	:	÷	:	
:		÷	:		
:	:		÷	Ė	
:		:	÷		
五二六	五	五	五	五岁	
	Ξ	=	=	五三五	
六 .	六	六	六	五	

五二四

日本側書簡	効力発生
五二八	効力発生 ······ 五二七

日 基づくホー 本国とアメリカ合 リー ズ・ミ 'n • /// サ ・サ 1 1 衆国 ル ル との シス • シ テ 間 ス テム 0 ムの取得及び生産に関 相 及びナイキ 豆防 衛援助 協 ・ ハ ー

定に

する交換公文)

合 衆国 側

訳

八日に署名されたアメリカ合衆国と日本国との間の相互防衛援 書簡をもつて啓上いたします。本官は、千九百五 十四年三月

助協定に言及する光栄を有します。同協定は、

各政府が、

他方

資材、 の政府に対し、 に従つて、 役務その他の援助を、 使用に供するものとすることを特に規定しています。 援助を供与する政府が承認することがある装備、 両政府の間で行なりべき細目取極

ァ

メリ

空防 いて討議を行ないました。 総 用に改修され びナイキ・ハー |称する。)の取得及び日本国における生産 衛を強化するため カ合衆国政府及び日 た型 キ . リ 1)並びに関連指揮装置 に必要なホ ズ・ミ との討議 本国政府の代表者は、 サ イル 1 0 ク・ミ 結果による合衆国政府 • シス (以 下 サ テ イル に関する計 ム • 、ステ 非核弹頭専 日 システム及 本国 <u>ئے</u> ا۔۔۔ 画に 0 لح 対

了

次のとおりであります。

s Note)

October 13,

Excellency,

be made between them. ance with such detailed arrangements as may ing such assistance may authorize, in accordor other assistance as the Government the other such equipment, materials, services, March 8, 1954, which provides, inter alia, that each Government will make available to United States of America and Japan signed on Defense Assistance Agreement between the I have the honor to refer to the Mutual furnish-

gram of the acquisition and production in understanding by the Government of the United "Systems") necessary to enhance the air nuclear warheads) and related control systems Japan of the Hawk missile system and the Nike ment of Japan held discussions on the prothe United States of America and the Govern-(hereinafter jointly referred to as the Hercules missile system (adapted for non-The representatives of the Government of discussions. America of the The following is the results of the

米国とのホーク・ミサイル・システム及びナイキ・ハーキュ リー ズ・ミサイル・システムの取得及び生産取極

五二五

はのシ府日 生購スに本 産入テよ国 又ムる政

は、

システムを購入し又は生産

合衆国政府は、

とれを販

売し又は生産を承認する。

1

3

0 規定

に基づき締結される細目取極に従

5

H 本国

政

府

用能民 力間 の企業

2

システム

は、

合衆国企業による援助を受けた日本国

実施を補足するものとする。 合衆国 企業の

政府は、 能力を可能

日本国

政府に直 り活用

接

販売を行

な

と の

計

画

<u>つ</u>

States of America.

mented by such capabilities in the United industrial capabilities of Japan as supplemaximum feasible extent through the private

When necessary,

United States of America to the Government direct sale by the Government of the program will be further implemented by な限

して入手される。

必要に応じて、

の民間

2

The Systems will be acquired to the

United States of America will sell or or produce and the Government of the below, the Government of Japan will buy ments to be concluded under paragraph 3 In accordance with the detailed arrange-

authorize the production of the Systems

の細緒取

3

及び技術上の知識 年三月二十二日 との了解は、 前 に署名された防衛目

るものとし、 政府と日本国政府との間の協定を含む。 ある当局の代表者により締結されるものとする。 その 実施の ための 細目取極は、 両政府の

の交流を容易にするためのアメ |記の協定及びこれに基づく取極(昭 的) に 従 のた め つて実施され にする IJ カ 権限 合衆国 特許 和三 ω • The present understanding will be implement of the United States of America and ment and arrangements concluded thereunder, mentioned Mutual Defense Assistance Agreemented in accordance with the above including the Agreement between the Govern-

of the competent authorities of the two ments to implement the present understanding will be concluded between representatives on March 22, 1956. Governments. Information for Purposes of Defense signed Interchange of Patent Rights and Technical the Government of Japan to facilitate The detailed arrange-

4 Financial obligations or expenditures constitutional provisions of the respective to budget authorization pursuant to the to be concluded hereunder will be subject present understanding and all arrangements curred by either Government under the

措出務政 置の又上 予はの

そ

ていずれか一方の政府が負担する財政上の債務又は支出は、

の憲法上の規定に従つた予算上の承認を得ると

解及びこれに基づき締結されるすべての取

極に基づ

4

れぞれ

の国

との了

とを条件とする。

算支債財

案する光栄を有します。

一家する光栄を有します。

一家する光栄を有します。

一家する光栄を有します。

一家する光栄を有します。

一本官は、この了解が日本国政府により受諾される場合には、

千九百六十七年十月十三日に東京でつて敬意を表します。本官は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向か

デイヴィッド・Δ・オズボーン

日本国外務大臣 三木武夫閣下

I have the honor to propose that, if the above understanding is acceptable to the Government of Japan, the present note and Your Excellency's reply of acceptance shall

Your Excellency's reply of acceptance shall be regarded as constituting an agreement between the two Governments which shall enter into force on the date of Your Excellency's reply.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my

highest consideration.

(Signed)

David L. Osborn

His Excellency

Takeo Miki Minister for Foreign Affairs of Japan

米国とのホーク・ミサイル・システム及びナイキ・ハーキュリーズ・ミサイル・システムの取得及び生産取極 五二七

次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。

米

国側書簡

米国とのホーク・ミサイル・システム及びナイキ・ハーキュリーズ・ミサイル・システムの取得及び生産取極

日本側書簡)

Sir

Tokyo, October 13, 1967

(Translation)

(Japanese Note)

五二八

of your note of today's date, which reads as have the honour to acknowledge receipt

Note)"

"(U.S.

enter into force on the date of this reply. ment between the two Governments which shall shall be regarded as constituting an agreeand to agree that ing is acceptable to the Government of Japan your note and this reply

my Government that the foregoing understand-

I have the honour to confirm on behalf of

you the assurance of my high consideration. I avail myself of this opportunity to renew

0

Takeo Miki

David L. Osborn, Esq. Chargé d'Affaires ad interim Minister for Foreign Affairs of Japan

アメリカ合衆国臨時代理大使

かつて敬意を表します。

千九百六十七年十月十三日に東京で

日本国外務大臣

三木武夫

本大臣は、

以上を申し進めるに際し、ことに重ねて貴官に向

政府に代わつて確認し、

本大臣は、

日本国政府が前記の了解を受諾することを日本国

貴官の書簡及びこの返簡をこの返簡の

日付の日に効力を生ずる両政府間の合意を構成するものとみな

すことに同意する光栄を有します。

デイ ヴィッド・D・オズボーン 貴下

of the United States of America

わが国

計画についての日米政府間の基本的了解を確認するものである。ギュリーズ・ミサイル・システム(いずれも非核弾頭用)並びに関連指導装置の取得及び国産に関する

の対空防衛の強化のために必要なホーク・ミサイル・システム及びナイキ・ハー

五二九

米国とのホーク・ミサイル・システム及びナイキ・ハーキュリーズ・ミサイル・システムの取得及び生産取極